



平成24年1月24日

各 位

上場会社名 株式会社 ストリーム
代表者 代表取締役社長 劉 海濤
(コード番号 3071)
問合せ先責任者 取締役副社長管理本部長 竹下 謙治
(TEL 03-6858-8188)

業績予想修正及び配当予想修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、業績予想及び配当予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,803	400	401	225	5,663.56
今回修正予想(B)	34,036	4	30	△13	△326.66
増減額(B-A)	△6,767	△396	△371	△238	
増減率(%)	△16.6	△99.0	△92.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年1月期)	38,867	382	396	247	6,220.64

平成24年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,596	234	243	144	3,618.94
今回修正予想(B)	22,496	12	11	△6	△150.77
増減額(B-A)	△3,100	△222	△232	△150	
増減率(%)	△12.1	△94.9	95.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年1月期)	26,208	233	250	134	3,378.48

修正の理由

(連結業績予想)

平成23年1月期の連結業績予想につきましては、インターネット通販事業におきましては、家電エコポイント制度の終息、又、地上デジタル放送への完全移行による薄型テレビの需要反動等、これらの対象商品も含めて全般的に家電量販業界の収益環境が厳しくなる中、下期以降急激な売上低下に直面しました。

更にはタイの洪水による一部家電製品の品不足や欧州のサプライズリスクによる景気などへの影響もありました。下期以降、スマートフォン対応、メインサイトのリニューアル、クレジットカードの本格的取扱等、受注の取り込みに注力しましたが、落ち込んだ収益を回復させるには至りませんでした。

その他事業につきましては、太陽光関連のバックシートが欧州市場における需要低下を受け低調に推移、既に解消しているものの食品関連のトレハロースの中国への禁輸も収益を押し下げました。

(個別業績予想)

個別業績予想の修正理由は連結業績予想に記載の内容とほぼ同様であります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (23年12月8日発表)	—	—	—	600.00	600.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年1月期)	—	0.00	—	600.00	600.00

修正の理由

当社は株主様への利益還元を経営の重要な課題と認識し、当社の収益水準等を勘案し安定した配当を実施しておりました。一方、業績予想の修正に記載のとおり、当期の業績予想は非常に厳しくなることが見込まれるため大変遺憾ながら無配とさせて頂くことと致しました。

以 上